

平成29年度第3回安城市地域ケア推進会議及び安城市医療・介護・福祉ネットワーク協議会

日時 平成29年6月15日（木）

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

今年度も本格的に研修会等が始まっていきます。だんだんと忙しくなるとは思いますがよろしくお願ひします。

2 議題

(1) 平成28年度地域ケア個別会議の集計報告（資料1）

資料の補足説明

- ・地域ケア個別会議は、個別ケースの支援内容について、ケアマネ、介護関係者、医療関係者、地域の関係者等多職種で検討する会議。地域包括支援センターが開催する。
- ・開催回数は市内全体で131件、参加合計人数は834人だった。前年の27年度と比較し、地域包括支援センターが増えたこともあり、開催回数は3割増し、出席者も2割ほど増えた。
- ・参加者の内訳、内容別件数は表1、2のとおり。表1の「社協」は成年後見や日常生活自立支援事業といった高齢者の権利擁護をする部門の職員の参加数を表している。
- ・主なケースと内容について、認知症については独居、高齢者世帯ともに、見守り体制やサービス利用、服薬管理、金銭管理、身元保証などについての支援体制について、高齢者以外と同居の世帯につきましては徘徊に対する家族支援と地域での見守りをテーマにしたものが6件あった。
- ・認知症ではない人についての個別会議では、独居者、高齢者世帯とも認知症者と同様に見守り体制やサービス利用、服薬・金銭管理、緊急時の支援体制について、高齢者世帯では老々介護への支援体制について話し合われた。
- ・高齢者以外と同居世帯については高齢者以外の人を抱える問題点、例えば飲酒問題や身体障害、無職であるなど他機関との連携を求められることをテーマに話し合われた。

（質問なし）

(2) 平成29年度地域ケア地区会議について（資料2）

- ・昨年度開催した地区会議の反省や関係者、住民の方の声を踏まえて今年度の地域課題と目標（目指すゴール）を設定し、それに取り組んでいくという形で行う予定。

資料の補足説明

- ・地域課題③について、安城北中学校区は市内で一人暮らし高齢者が一番多い地域で、今年度に入ってから安否確認の依頼が立て続けにあったことから課題にあがっている。

- ・包括八千代では、昨年度の振り返りから地域課題⑥⑦があげられ、今年度は専門職と住民が協力しあえる地域作りを目標としている。
- ・包括あんのん館は昨年度に引き続き認知症への対応を課題としている。

(意見)

- ・地域支援部会：榎前町内会は今年3月から包括あんのん館の協力を得て、従来から行っている体操教室に引き続き30～40分のお茶会の運営をしている。高齢者が参加しづらいという問題点に対しては、自分から来られる人だけでなく、要援護者を意識的に誘うようお願いして、参加者の幅を広げるようにしている。参加者は60代から90代と幅広く、毎回40名台をキープしており、軌道に乗って来たと思っている。本来の目的にあう形での開催に近づけるように引き続き皆さんをお願いしている。

(3) 見つかるつながるネットワークについて (資料3)

(地域支援部会)

- ・ネットワーク機能をより働きかけしやすくするための提案
- ・ネットワークがスピーディに効果的に運用できていればご家族があちこち探しまわらなくてもすんだのではないかと感じた。
- ・提案点として3点資料にまとめた。
- ・ガイドブックの表記の仕方を工夫して、**徘徊の恐れがある時**と**行方不明になった時**に家族としてまず何をすべきかがわかりやすくしてはどうか。
- ・警察から家族に、市に連絡をして市から行方不明情報を発信することへの働きかけを徹底する。
- ・町内会としても、地域見守り活動の中で徘徊の恐れを把握した場合には、家族に市への事前登録の制度をお知らせして、積極的に登録を勧めたい。予め説明をすることで、家族にいざ行方不明というときに警察に届けること、市や町内会に知らせることでネットワークの効果的な運用にもつながるだろう。
- ・昨日あった町内会長連絡協議会理事会でも同様の情報提供をした。後日、全81町内会にも伝わり、引き続き徹底していく。

(事務局)

- ・運用から1年ほど経過し問題点・課題も出てくる頃。改善にむけて、できることを整理して見直しをしていく。周知が出来ていないことが根底にあると思われる。認知症サポーター養成講座、各中学校区での認知症高齢者捜索・声かけ模擬訓練を開催し、これらの中で見つかるつながるネットワークの周知に努めている。それ以外にも折に触れて周知していきたい。
- ・各立場で接する中で、登録したほうがよいと思われる人がいたら、是非登録を勧めてもらえるようお願いする。
- ・ガイドブックを今回の提案に沿って表記を見直す。

(質問)

- ・事前登録の出来る権限者について
⇒同居、別居に係らず親族が登録できる。

(意見)

- ・資料裏面の「家に帰ってこられなくなったときのためにしておくといふこと」というところは、普通にみると「自分が」とみえるので、「本人・家族が」という文言を入れたほうがよい。
- ・資料表面3の「情報共有（注意してみていきましょう）」について、登録にひとつのハードルがあるのであれば、注意してみていきましょう＝事前登録という意識付けをしたほうがよいと思う。
⇒現実に身近なところで徘徊が起きて、事前登録の重みを感じた。私たち周囲の者が家族に事前登録を勧めなくてはと思った。

(4) 在宅医療を広く知ってもらうために何をするか (資料4)

(事務局)

1について

- ・ガイドブックを事務局で原案を作成する。
- ・内容について、各部会から意見をもらい、推進会議で協議する。
- ・来年度の発行をめざす。

2 PRキャラクター、3 寸劇について

- ・有志によるキャラクターの提案、劇団の立ち上げをお願いしたい。

2,3については時間がかかる。1からまず取り組んでいきたい。

PRの仕方について

- 1 折をみて、広報あじょうで特集記事を掲載する。内容について、記事を作成する段階で推進会議で意見をもらいたい。
- 2 福祉まつりでのPRについて、
 - ・今年度ブースを設けるところで対応できるか
⇒（訪問看護）まだ内容は具体的に考えていない。盛り込んでくださいということか。他のところで取り組みが無く、訪問看護で、ということであれば内容的に検討する。
 - ・訪問看護のPRに合わせて在宅医療の周知を盛り込めたらお願いしたい。在宅医療単独のPRについて、誰がどのような内容であるのか、来年度に向けて考えていきたい。
- 3 老人クラブ・敬老会等で説明することについて、高齢福祉課が担当するまちかど講座のメニューに「在宅医療」を加え、できるように取り組んでいきたい
- 4 (保健福祉部会) ハートフルケアセミナーは、愛知県市町村振興協会が主催で家庭介護の基本を学ぶ研修会として開催されている。予め決められたメニューの中から選択している。今年度のメニューは昨年秋に決まっているので現段階で変更することは難しい。ハートフルケアセミナーは多くの人が集まる良い機会なので、講演の前後に在

宅医療をPRするための時間を5分とか10分とすることは出来る。また、現状在宅医療に関するメニューはないので、来年度に向けてメニューに加えるように市町村振興会に提案していきたい。

- ・現在、高齢福祉課としても在宅医療のPRのメニューがないので、ガイドブックの作成を含め、PRが出来るように準備をしていきたい。

(意見)

- ・市民フォーラムの前座的なところでやられているのを見かける。有志で劇団立ち上げをして、是非市民フォーラムで発表の場をもてたらと思う。
- ・福祉まつりのブースでの周知も前向きに検討して欲しい。応援に駆けつけることも出来ると思う。在宅医療は訪問看護が中心になる。是非今年からやってもらいたい。
- ・ハートフルケアセミナーはメニューの幅、数が多い。社協からお勧めを示してもらえるとよい。意識が高く、周りにも伝えることが出来る人が40人50人とまとまって集まるよい機会なので、有効に活用できたらと思う。

(5) サルビー見守りネットポータルサイトへの歯科医師会フローチャート、申込書等の掲載について (資料5)

(歯科医師会部会)

- ・先月、フローチャートの周知をお願いした。
- ・申込書(問診表)についての問合せがケアマネジャーから在宅医療サポートセンターに入った。
- ・申込書(問診表)を見直し、担当ケアマネジャーの記載位置を変更した。
- ・歯科医師会ホームページを7月からリニューアルする。そこにもフローチャート、歯科訪問診療協力医一覧、申込書(問診表)を掲載予定だが、サルビー見守りネットのポータルサイトの資料のページにも掲載できないか。

(意見・質問)

- ・服薬中の薬の項目のその他に健康食品やサプリメントを含むとしてももらえないか。以外に影響があるのでそうしてもらえると助かる。
⇒了解
- ・訪問希望日時を書くとその日に訪問してもらえるのか
⇒訪問希望日時に訪問できるように協力医の中で調整する。
- ・ICTの目的にかなう内容であること、訪問歯科の内容を広めるという点サルビー見守りネットのポータルサイトに掲載することを承認してはいいかがか。

(掲載について全員一致で承認)

○引き続き協議会で協議したいことはないか

⇒なし

連絡事項

- ・在宅医療・介護連携推進のための研修会（資料6）

①テーマ：アンガーマネジメント（施設部会） 【事前申込み150名】

日時：平成29年6月28日（水）午後6時から

場所：市民会館 大会議室

講師：由宇未空（ゆう みそら）氏

②テーマ：エンドオブライフ・ケア研修会（医師会部会） 【申込み多数により第2弾計画中】

日時：平成29年7月1日（土）午後1時30分から

場所：医師会館 2階 大会議室

講師：杉浦 真氏

③地域包括ケア市民フォーラム

日時：平成29年7月22日（土）午後1時30分から

場所：文化センター マツバホール

講師：金子稚子（かねこ わかこ）氏



次回 平成29年7月20日（木）午後1時30分～3時 社会福祉会館3階 会議室